

# 組合だより

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス [ODUnion@mb4.seikyoku.ne](mailto:ODUnion@mb4.seikyoku.ne)

第113号  
2月6日  
2008年

発行所 岡山大学職員組合  
〒700-8530 岡山市津島中 2-1-1  
電話 086-252-1111(代)  
(内線) 7168  
直通・FAX 086-252-4148

全大教森田書記長岡大職組へ

## 08春期方針「組合員拡大」について報告

来岡された森田さんは、22日執行委員会で08春期方針として、とくに組合員拡大について報告されました。以下その報告要旨です。



まず、全大教は、今年度(07/8~08/4)、4000人の組合員拡大を決定し取り組んできました。かつて全大教傘下の組合員3万人を数えました。しかし現在は、2万人を切るどころにまで落ち込んでいます。

これを向こう5年間で、もとの水準にまで戻すためには、どうしてもこの程度の拡大が必須なのです。

こうした取り組みの結果、現時点ですでに849人の方が新たに加入されました。多くの単組で、積極的・多様な組合拡大運動が展開されてきました。

北大では、組合員の56%が50代、もし拡大しないなら、組合は「存亡の危機」に陥るということで、取り組みました。

東北大では、「助教任期制反対」運動に取り組み、組合員が純増しました。

電気通信大学では、退職組合員の数だけは拡大しようとして取り組み、単組委員長が先頭に立って拡大を実現しました。

苫小牧高専では、委員長を先頭に取り組み、3年間で、組合員は1.5倍になりました。

信州大学では、拡大集中期間内だけで、12人の組合員を増やしました。

そのほか、福島大学、京都工芸繊維大学、大阪教育大学などでは、「過半数組合」を維持し、さらに発展させるために奮闘しています。

しかしながら、4000人の組合員像という目標に照らしてみると現時点では、各単組の拡大目標数の合計は1,555人で、まだ39%しか達成されていません。

また、90単組が年間目標数をまだ設定していない状態です。岡大職組にもぜひ頑張ってもらいたいと思います。

組合員拡大が目立つのは、看護師さんの組合員拡大で、岡大でも、ぜひ看護師さんの拡大を実現して欲しい。その際、琉球大学の事例を参考にして欲しいとおもいます。

琉球大学では、新人看護師35人が組合に加入しました。琉大では、新人看護師オリエンテーション

の場で、組合の説明をしました。執行委員の先輩看護師が、現場の看護体験を話しました。

「夜勤の時の心細さ」「家庭と仕事との両立のむずかしさ」「何度も辞めようと思いつつその都度組合と相談した」などと苦しい体験を語ったのです。

岡大でも、オリエンテーションで組合の説明をするのが認められているのですから、ぜひこうした体験を参考にしたいと思えます。

### 執行委員間で議論盛り上がる



この報告を受けて、執行委員会で組合員拡大をめぐって、議論が盛り上がりました。三役の方から、キャッチ・コピーの募集など、キャンペーンをしているという発言があり、キャンペーンを実際の組合員拡大にまで繋げる努力があるという意見がありました。

「昔は組合には自然に入ったものだが」という年長者の発言や「団結の力で要求を勝ちとるなどというのは、私自身あまりそう思っていない」といった比較的若い人の発言が続きました。

「ぼくは、岡大に就職した時の歓迎会で誘われた。最初の歓迎会の時が組合加入を勧誘するチャンスだと思う」「就職後2年目にぼくは執行委員にさせられた。それがぼくにはとても良かった。執行委員仲間が、いろいろなことを教えてくれた。新任で右も左も分からない時、学内の事情を親身になって教えてくれたのは組合の仲間だった。」「その時の組合委員とは、いまだに同志的な感情が続いている」といった意見には、みななるほどとうなずきあっていました。

「看護師といった職場では、心配なこと、不安なことがいっぱいある」「親身になって、相談に乗ってくれる仲間が、一番頼りになる。それが組合だ」といったキャッチ・コピーがどうやら、一番の口説き文句らしいということになりました。

1月から3月という時期が、組合員拡大にとってとても重要な時期です。この時期を逃さないようにしなければと、執行委員は決意を固めました。



## 団体交渉報告



1月15日午前9時30分より11時15分まで、本部棟第2会議室において「非常勤職員の待遇改善に関する要求書(2007年11月30日提出)」に基づいて団体交渉がもたれました。組合側からは中富委員長他4名(陪席1名)、法人側からは岡田理事他4名(陪席2名)が出席しました。



要求書前文：岡山大学の業務において非常勤職員が果たしている役割がきわめて大きいことは責職も認められているところと存じあげます。岡山大学職員組合においても、来年4月の改正パート労働法の施行を前にして、岡山大学に働く非常勤職員の処遇の改善、とりわけ非常勤職員の常勤職員への転換制度に強い関心をいただいております。

このたび11月15日付け学長裁定により「事務職員登用試験(選考採用)実施に関する要項(以下要項)」が決定されました。同時に発表された「案内」では、試験日を1月6日とし結果発表は1月11日としており、4月の改正「パート労働法」施行を前にして岡山大学においても非常勤職員の正規職員への道が一步拓かれたことを喜ばしく思います。

一方、来年4月施行の改正「パート労働法」では短時間労働者について様々な施策が事業主に求められており、岡山大学においてもこれに伴って非常勤職員の処遇のいっそうの改善が必要と考えられます。岡山大学職員組合は改正「パート労働法」の趣旨に沿って、以下の点について要求いたします。

非常勤職員の待遇改善については、長期にわたって常勤同様の業務をされてきた人たちの処遇など多くの課題がありますが、今回は特に、改正パート労働法が4月から施行されることに伴って改善すべき点について要求しました。



### アンケート御礼

事務職員の皆様、12月には、全国大学高専教職員組合アンケートに476通のうち、90通のご回答をいただきありがとうございました。全国大学高専教職員組合にて集計後、結果をご報告させていただきます。

要求1「事務職員登用試験(選考採用)」はパート労働法第12条第3項「一定の資格を有する短時間労働者を対象とした通常の労働者への転換のための試験制度を設けることその他の通常の労働者への転換を推進するための措置を講ずること」に対応したものと考えられます。第12条は「転換を推進する」ことを求めており、要項の随所に表れているような「欠員補充」に限定することは法の趣旨からして不十分な措置です。多くの有能な非常勤職員が常勤職員同様の業務を担っている岡山大学の現状を見るならば、この登用制度を新規採用制度の従とするのではなく、岡山大学の人事制度の中に計画的に組み込むべきものと考えます。この点について、4月以降の法人の方針について伺いたい。

「事務職員登用試験(選考採用)」(以下登用試験)について、「欠員補充」に限定しているのは法の趣旨からして不十分であるとの組合要求に対して、法人側は不十分とは考えていないとの回答で、平行線でした。しかし、「欠員補充」というのは一般の採用試験でも同様であるとの見解が示され、「欠員補充」という文言をあえて「登用試験」実施要項に書く必要はないことが明らかになりました。



さらに、今回の登用試験の対象を「平成16年4月前から」勤務している非常勤職員に限定したために応募機会を失った人がいる点に改善を求めたところ、今後検討するとの回答が得られました。

くわえて、登用試験の受験資格に「勤務実態や勤務成績を良く知る者からの推薦を受けた者」とあるが、部署に不可欠の人ほど上司に言い出しにくい状況があるので、推薦を条件とするのは取りやめてほしいとの組合の要求に対しては、実質的に上司として「受験することを承知している」ことを趣旨としているので、「推薦者記入欄」の文言は検討するとの回答でした。

要求2. 技術職員, 図書館職員としての仕事をしている非常勤職員には, パート労働法第8条にいうところの「通常の労働者と同視すべき」労働者が多数存在すると思われます。これらの非常勤職員について第8条は「賃金の決定, 教育訓練の実施, 福利厚生施設の利用その他の待遇について, 差別的取り扱いをしてはならない」ことを定めています。この点について, 4月以降の法人の方針について伺いたい。

パート労働法が「通常の労働者と同視すべき」労働者と規定している非常勤職員については、「岡山大学には要件を全て満たしている人はいないのではないか」との回答でしたが, 組合の「職務, 人事異動, 契約期間の全ての要件を満たしている非常勤職員は相当数いる」との指摘にたいして, パート職員を含め, 法人として実態の調査把握を約束しました。また, これに関する異議や不服がある場合には「苦情処理委員会」に申し立てることができることも確認されました。

要求3. パート労働法第9条は「短時間労働者の職務の内容, 職務の成果, 意欲, 能力又は経験等を勘案し, その賃金を決定するように努めるものとする」としており, 現在岡山大学で実施されている短時間雇用職員の800円, 840円という殆ど定額に近い賃金制度は著しく不適切なものとなりました。パート労働法の趣旨に則った賃金制度の改善を求めます。

定額制がパート労働法の趣旨に合わないのは認めるが, 今の制度になって日が浅いし「努力義務」でもあるので, しばらく様子を見たい, という回答でした。

継続雇用期間が3年を上限としているのは, 5年継続の科研などの外部資金が多くなっている現状に合わないの, 上限を5年とすべきではないかという組合の意見に対して, 検討中ではあるが, 現在でも継続雇用期間の上限には例外規定があり個別に検討して5年に延長することが可能なので人事課に相談してほしいとの回答でした。

### 教職員共済 断然有利

～今春退職される皆様へ～

おすすめします! 「さぼーとプラン」

公的年金の補完に「年金コース」

予備資金・生涯保障に「生活保障コース」

詳細は、<http://www.dgs.sakura.ne.jp>



### 非常勤職員のみなさま ぜひご参加ください!



#### 「パート労働法学習会のお知らせ」

～パートタイム労働法20年4月1日施行に向けて～

日時：2月13日(水) 18:00～

会場：経済学部中会議室  
(法文経2号館1階)

講師：平井昭夫弁護士

\*お弁当をご用意いたします。

\*お問合せ・申込みは職員組合まで(内線7168)

### 「組合員拡大キャッチコピー」に

#### 応募して5000円ゲットしよう!!

学内便、もしくはメールで組合までお寄せください

現在のところ以下のような案が出されています。

「世界が見える 日本が見える 岡大が見える」

「豊かな人間関係は組合から」

「創ろうーよりよい学問・研究環境」

「創ろうー安全・安心の医療」

「創ろうー自由な発想のできる職場」

「創ろうー岡山のあした」

「創ろうーみんなの岡大」

「るしくともんなの力をわせればっぽ前進」

### クリスマスコンサート

2007年12月22日午後6時半よりリリコホールにて、組合の合唱を指導して下さっている加藤晴子先生と柴田久美子さんのジョイントコンサートが開催されました。曲目は、「ホワイトクリスマス」「アヴェ・マリア」など。加藤先生の歌声の美しさと、作品のあふれる想いを感じ、そして、とても穏やかな気持ちになりました。最後は、全員による「アメージンググレイス」の歌声が会場いっぱいに響きました。

～あなたも組合の合唱団と一緒に歌いませんか? 月にほぼ3回、金曜日の午後5時40分から、教育学部音楽棟3階小ホールで練習しています。詳しくは、職員組合、内線7168まで～





## 単組だより

教育学部単組 文化・レク企画報告

### 海を越え、いざ大塚国際美術館へ

教育学部執行委員長 泉谷淑夫

我が教育学部単組は文化・レク行事として「大塚国際美術館見学」を企画し、去る12月2日(日)貸切の25人乗りバスで好天の瀬戸大橋を渡り、一路徳島県の鳴門市へと向かいました。参加者は組合員とその家族17名。その内事前レクチャーを受講された方が約半数。他の参加者も行きのバスの中で資料類に目を通して事前学習。何しろ展示作品はすべて西洋名画の複製とはいえ、古代から現代までの選りすぐりの約1000点。ある程度的を絞って見ないと、目移りしてただ疲れに行くようなもの。

大塚国際美術館は今年で10周年を迎えた世界でただひとつの複製美術館。その複製画はセラミック陶板に名画の写真を特殊技術で焼き付けたすぐれもの。しかもすべて原寸大で複製されているところがミソ。とはいっても要するに展示作品はすべて偽物。その偽物を見るのに大人3150円の入館料は「高い!」と感じるのが普通。しかし実際に見てみれば3150円は逆に「安い!」と感じられるはず。特に「環境展示」は空間丸ごと再現ですから、一見の価値あります。またレオナルドの《最後の晩餐》の修復前と修復後の姿が一緒に見られるのもここだけ。帰りのバスで参加者の一人一人に感想を尋ねましたが、皆さんそれぞれに好きな作品ともめぐり合え、「疲れたけれど大満足」という顔をされていました。ちなみに今回の所要時間はバスでの移動が往復4時間半、会場では食事を含めて自由時間が5時間半でした。それでも全部は見切れない方がほとんどで、早くも「また行きたい」という声が出ていました。

ちなみに偽物ばかりの同美術館にある本物は、名画に付けられた豪華なイタリア製の額縁です。



\*\*\*\*\*

### さんぽみち

朝から大雪の予報だった。冷たい指先が痛いほどの冷え込みだった。だが、さすが晴れの国岡山だ。県北は間違いなく雪であるはずなのに、晴れ上がった空は青く、日差しは明るく降り注いでくる。

その青空の中から、ときおり花びらのように、雪片が風に乗って、ひらひらと舞い降りてくる。風は強くまた冷たい。枯れ枝の合間を縫うように落ちてくる雪のかけら。

寒風について、私は外へ出る。私は街中を歩む。街は人気なく、静まりかえっている。風が音もなく吹き抜けていく。陽の光の中、街は寒々しく、黒猫が一匹足早に通り過ぎていった。

薄日さす 冬の街中 猫一つ (k)



### 編集後記

この1月から査定昇給が始まった。大方の教職員がC評価だということは分かっていたし、自分の評価票に記入するときから大体予想はついていたものの、「ひょっとしたら……」という気持ちも心のどこかにあったようである……結果は予想を裏切らなかった。しかし改めて貰ってみるとこの「C」評価というのはやはり気になる。おそらく岡大の教職員の多くは、学生時代には「A」か「B」に相当する評価を受けてきたのではなかるうか。それが職場で新年の初めに「昇給区分：C」というのを目にするのはやはりショックである。大方の教職員が「C」だと割り切れればよいのだが……、なかなか煩惱から免れるのは難しい。

### 組合員勧誘のキャッチコピー大募集!!

採用された方には、謝礼5000円の図書カードを差し上げます。奮ってご応募下さい。締切りは、2月22日です。

組合員拡大キャッチコピー 職員組合行(学内便)

所属

お名前